

県外小中学生 きりたんぽ作り挑戦

北秋田、スキーも体験



きりたんぽ作りに挑戦する参加者 2022/12/28

県外の小中学生が北秋田市内できりたんぽ作りや雪遊びなどを楽しむ「短期チャレンジ留学」が24日から4日間の日程で、同市鎌沢の合川学童研修センターなどで行われた。

首都圏を中心に13人が参加。初日のきりたんぽ作りでは、参加者が炊きたてのご飯をビニール袋に入れてつぶし、棒に巻き付けて形を整えた。きつね色になるように棒を回しながら、20分ほどかけて焼き上げた。出来上がったきりたんぽは、その日の夕食として味わった。

今回が8度目の参加となる東京都八王子市の柳澤夏希さん(14)は「きりたんぽを作ると、秋田に来たと実感する。今年はおまくら作りを思い切り楽しみたい」と笑顔を見せた。

参加者は期間中、森吉山でのスキーも体験。秋田内陸線阿仁前田温泉駅併設の温泉施設・クウインス森吉で温泉に入ったり、雪景色が広がる秋田内陸線に乗ったりして市内を堪能した。

短期チャレンジ留学は北秋田市教育委員会の主催。交流人口の拡大や市をPRし、移住や定住につなげようと、2016年から夏と冬の年2回行っている。コロナ禍の20年は中止、21年、22年は冬のみ開催した。(石塚佳治)
(秋田魁新聞 令和4年12月28日(水)より一部抜粋)



炭火を使ってきりたんぽを焼いた

2022/12/27